

～第5回板井原訪問～

平成24年10月6日（土）

今日（10月6日）板井原地区にある向山神社の祭りの飾り付けのお手伝いに行きました。早い秋を求めて観光客の姿が見られます。

→

板井原の住人の方々7名が参加されていて、生徒は6名が参加しました。場所は集落内にある板井原公民館です。今日のお手伝いの内容は花籠祭りに使う花を作る作業です。

飾り付けのやり方を教わっています。



↓



花かごにする「竹ひご」に色紙を巻きつけています。→



75本の竹ひごを完成させ作業は2時間で終了しました。その後板井原の将来についてインタビューをしました。結果については、11月18日（土）の農林祭で報告します。

板井原の方々達にインタビューしているところです。

→

今後は板井原の人々の生活の様子を残していきたいと思いました。

最後にみんなでお茶会をしました。出してもらった豆腐竹輪がとてもおいしかったです。お土産にも豆腐竹輪をもらって帰りました。（H. K）



(感想)

このままじゃ板井原に住む人が減ってしまうなと思いました。そうさせないために、僕の近所の人に板井原に来てもらっていろいろ知ってもらいたいなとおもいました。板井原の人の手伝いをしてあげたい。

(例：畑仕事、洗濯、食器洗い、そうじ、風呂用意など) (T.Y)

- ・後継ぎがいなくなってしまうのはいけないと思う。PR する。(R.S)
- ・将来は板井原を継いでいきたいと思いました。今のところは、板井原へ訪問と交流です。(H.T)
- ・私は板井原で始めて花かごを作るお手伝いをしました。最初は色紙を四つに折ります。次に、折り目をつけたところをはさみで半分に切りもうひとつの折り目の半分ちょっと超えたところまで切り目をいれます。最後はさっきの手順でやった色紙を竹の周りに巻きます。ただ竹に巻くだけなので最初は簡単だと思っていましたが、色紙をきれいに巻き上げるにはとても難しかったです。作業が終わると、村の人がお菓子を用意してくれていて、ティータイムになりました。その後で、住民の方にインタビューをして、最後におじいさんの写真を撮らせてもらいました。やさしい笑顔がとても素敵でした。(A.K)

・これまで4回板井原を訪問しましたが、住民の方に簡単なお話を伺ったことはあるものの、本格的に交流するのは今回が初めてでした。

生徒たちは、花かご祭りの飾りを作るお手伝いを、住民の方の指導を受けながら熱心に取り組んでくれました。これまで住民の方だけで細々と受け継がれていた伝統的な祭りに、周辺の関わりにしても少しでも参加できたのは大変良かったと思います。生徒の参加によって、2時間ほど作業時間が短縮できたとのことでした。それに対する村の方からの感謝の言葉が、単調になりがちな作業でも、確かな手伝えを得て、生徒たちのやりがいにつながっていくのではないのでしょうか。

村祭りという地区最大の行事でありながら、その準備に参加される方は少なくなっているとのことでした。見ていると、手順は決まっていて、特にリーダーがいるわけでもなく、淡々と準備が進んでいきます。思い出したように、誰かが「おいあれもせにゃーいけんがないな。」という声で、できていなかった作業に移っていきます。長く続く村のやり方なので



しょう。すべての人がそのやり方を知っているからこそ進んでいくのだと思います。そして、その作業の中で交わされる何気ない会話が、地域のコミュニティを支える上で大切な役割を果たしている事を感じました。村で行われる祭りを含めた惣事（行事）を維持することが、この地域を維持することになるのでしょうか。高齢者の方の集まりの中で、村祭りという集落最大の行事をいつまで継続できるのか、周辺からの何らかの関わりの必要性を感じました。(顧問)